



七十八

タニエラ・B・
ワコロ長老

「キリストの名を受けなければならない……。キリストとはわたしの名である。」(3ニーファイ 27:5)

わたしはフィジーで生まれました。両親はこの教会の会員ではなく、別の教会に通っていました。

わたしは大人になると、つまのアニタと結婚しました。アニタは末日聖徒イエス・キリスト教会の会員でした。アニタは何度も宣教師をまねいて、わたしと引き合わせようとしてきました。

ある日、わたしは宣教師に3日続けて夕食に来ていいと言いました。そして、聖書だけを使ってわたしの質問に答えるように言いました。かれらの答えは完璧でした。3日目の夜、宣教師はわたしに質問しました。

「あなたが食料品店のオーナーだったら、お店にどんな名前をつけますか？」

「自分の店だから、ワコロファミリー食料品店という名前にするだろうな」とわたしは答え

ました。

宣教師は、「教会はどなたの名前であるべきでしょうか?」と尋ねました。

それはすばらしい質問でした。わたしは心でその答えがわかりました。真実の教会は主の教会なので、イエスの名前がつけられているはずで、末日聖徒イエス・キリスト教会は、主の名前がつけられているではありませんか。

わたしにはもう一つだけ質問がありました。「いつバプテスマを受けられますか?」1週間後、わたしはバプテスマを受けました。

バプテスマを受けるときに、わたしはイエス・キリストの御名を受けました。つまり、主の教会の会員になり、主にしたがうと約束したということです。わたしは毎日、主が生きられたように生活しようと最善をつくしています。この教会はイエス・キリストのほんとうの教会だと知っています。●

この教会は、主の教会です

